



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

10月15日(日)大岡信ことば館に於いて、吉澤実&三島リコーダーオーケストラと大岡信ことば館の共催による東日本大震災・九州北部豪雨災害支援チャリティーコンサートが行われました。

入場料は無料で募金の協力をお願いし、募金は義援金として福島県と福岡県朝倉市に送付されます。写真は吉澤実氏の指揮のもと演奏をする三島リコーダーオーケストラ。

プログラムには【開催にあたって】と題して趣旨が記されていたので全文紹介します。

「東日本大震災で被災された方々の力になりたい」

そんな思いで、私たちは2011年夏よりチャリティーコンサートを開催してまいりました。

毎年無事な一年をと願い次のコンサートを計画しておりますが、残念なことに新たな土地での災害の情報に耳にし、胸を痛めております。

一人ひとりのできる事は限られているかもしれませんが、

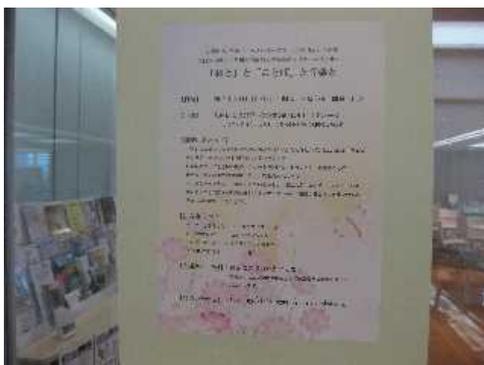
コンサートという時間を共有することで

ほかの地域に住む方々を想うきっかけ、継続することの意味を考える機会になれば嬉しく思います。

と記されていました。

チャリティーコンサートのはじめは加茂川教会、三島高台教会、妙隆寺、禅叢寺など、チャリティーの趣旨に賛同して会場を提供して下さるところで行われ、ベルフォーレのイベントホールでも2回開催されました。

2014年からことば館と共催することになり、今回で4回目になります。通算では11回目のチャリティーコンサートになりますと、八木さんからお聞きしました。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#) [「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

会場の大岡信ことば館3階ホールの入り口には、【「おと」と「ことば」と音楽と】をテーマにしたチャリティーコンサートのチラシが貼られていました(写真左)。

13時30分に受付が開始されると来場者が次々とプログラムを受け取り、隣に置かれた募金箱に募金して会場に入って行きました(写真右)。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#) [「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

定刻の14時になると奏者は演台に揃い(写真左)、会場に準備された100人程の席はほぼ埋まっていた(写真右)。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#) [「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

会場提供の大岡信ことば館の方が挨拶に立ち、ことば館で4回目と紹介しました(写真左)。続いて指揮者の吉澤実氏が挨拶し、三島リコーダーオーケストラの演奏に入りました。

1. 5つの世界都市

I : Paris

II : Tel Aviv

III : Rio

IV : St. Louis

V : Das Huhn von Thun

「Das Huhn von Thun」を聞いているとコケッコーと聞こえました。この曲名はドイツ語で、Huhnが雄鶏、Thunはスイスの小さな町の名で、「トゥーンの雄鶏」という意味になるそうです。

トゥーンは作曲者のローゼンハックが住んでいらっしやるようで、トゥーン湖という観光地では有名なようです。しかし、スイスの田舎町ですから、パリやリオデジャネイロに並べていることがおもしろいところです。と後で八木さんに教えて頂きました。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

2. 風の通り道

3. ねこバス

4. となりのトトロ

5. ピーターとオオカミ

となりのトトロでは観客に曲のタイミングに合わせ手拍子を求め、一体感をつかむ上手さはさすがと感じました。

また、指揮に合わせ、ピタッと音を合わせ、楽譜をめくるタイミングが見事に合うのを目にすると、音楽に

縁遠い私には感動するものがありました。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#) [「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

ピーターとオオカミでは、音楽と朗読のコラボレーションで、南さん(写真左)とピーター役の山本君(写真右)の朗読に合わせ、リコーダーの奏でる音の表現、情景が浮かんでいきます。これぞ、【「おと」と「ことば」と音楽と】なのではないでしょうか？



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#) [「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

前半の演奏終了後に、実際に福島に行き、音楽のボランティアで被災者を癒した経験を持つ、恩田さんが被災地の状況を説明しました(写真左)。実際の被災地に行き、衝撃を受けた事や現在の被災地の状況についても話されました。2013年に行った時と現在の状況が演奏会場に6枚掲示されていました。有名になった一本松の写真もありました。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#) [「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

休憩中に色々な形をした笛の仲間が運ばれてきました(写真左)。これが全て楽器なの？と驚きました。金属の板にしか見えない！

休憩が終わり、吉澤実氏が会場に入り、笛の仲間を一つ一つ手に取り解説し音色を聞かせてくれました(写真右)。

指揮者吉澤実氏はザルツブルクモーツアルテウム音楽大学卒、N.アーノンクール氏に師事。NHK教育テレビ「ふえはうたう」講師(11年)。「趣味悠々」講師。モーツアルテウム音楽大学、横浜国立大学講師を経て、現在、東京芸術大学講師を務める。CD、DVD、CM等多数。著書は60冊ほど。JICA、NPOに参加しアジア各国の子どもの自立支援、指導者の育成を行っている。静岡県芸術文化奨励賞受賞。(プログラム掲載内容を紹介)

吉澤実氏の生演奏を聞けるチャンスに恵まれたのは実に幸運でした。後半の初めには大岡信氏の詩

を朗読し、涙したのを目にして、芸術家の感性に驚きました。そして、その後演奏した「見あげてごらん夜の星を」を聞いた時は涙腺が緩みました。ことばと音は心をゆすぶるものが有ると感じました。そして、全員で大岡信氏へ黙とうを捧げました。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

後半のプログラムは順序が少し変わりましたが
6. 見あげてごらん夜の星を
7. 美女と野獣
8. ひとりぼっちの晩餐会
9. Let it go～ありのままで～
10. 上を向いて歩こう
プログラムは終了しました(写真)。会場の拍手は鳴りやみません。



[「おと」と「ことば」と音楽と\(大岡信ことば館\)20171015](#)

演奏者7人が突然何やら取り出す。それは仮面、オペラ座の怪人を演奏する演出でした。そして、最後にふるさとの唄をリコーダーの演奏に合わせて会場の人と合唱して、今日のコンサートは全て終了しました。

終了後に受付では、コントラバスが置かれ、興味ある方に触れたり、吹かせてくれました。身近で触れる機会が無い人には良い機会でした。直ぐ隣で聞くと低くて良い響きでした。

最後になりましたが、今日の主役の三島リコーダーオーケストラを紹介します。
1978年、三島市の小学校教諭であった故河野和男のもとにリコーダーの好きな教え子が集まり「三島リコーダーアンサンブル」を結成。同時期に活動した社会人グループの「三島リコーダーコンソート」のふたつを母体に、新メンバーも加わり、2005年12月からは吉澤実を指導者として迎え、「三島リコーダーオーケストラ」として再出発。

現在は定期的に集まって練習しながら、近隣のリコーダー演奏団体との合同演奏会や子供たちのための演奏会を開催。メンバーは小学生からシニアまで幅広い世代がいます。

【団員募集】

私たちと一緒に、リコーダーを楽しみませんか。響きをともに作る仲間を募集しています。気軽にご連絡ください。と案内されています。

窓口は

三島リコーダーオーケストラ 八木

・Tel: 090-7302-9203

・Mail: goat@ny.tokai.or.jp

・練習日: 第2・4火曜日 19時～21時

・練習場所: 三島市立錦田小学校 音楽室

好きな音楽を、仲間と奏でる、心肺機能が強化され、指先まで神経が行き渡り、奏でる音に感性が磨かれる。心身共に健康にもいいですね。芸術の秋に音楽の素晴らしさとことばの力を感じることができました。有難う御座いました。次回が楽しみです。

取材：東部・田方地区生きがい特派員 加藤 孝